

京都市勧業館みやこめッセが、感染症予防対策の 国際衛生基準である「GBAC STAR™ 認証」を取得

京都市勧業館みやこめッセ（運営：株式会社京都産業振興センター、所在地：京都市左京区、以下みやこめッセ）は、お客さまに安全・安心な施設環境をお届けするため、感染症予防対策において、国際的な衛生基準を満たした施設であることを証明する、GBAC STAR™ Facility Accreditation（以下「GBAC STAR™ 認証」）を取得いたしました。

◎「GBAC STAR™ 認証」とは

「GBAC STAR™ 認証」とは、世界的な洗浄業界団体（ISSA）の一部門である Global Biorisk Advisory Council（GBAC）による感染症予防対策の国際的認証プログラムです。衛生対策・感染症対策に関するマニュアルが、GBAC の定める国際基準を十分に果たしていることが認められた施設に、「GBAC STAR™ 認証」が与えられます。



この度みやこめッセが GBAC STAR™ の認証を受けたことで、当館が策定している洗浄や消毒、感症予防に関するプロトコルならびに各部門・従業員の役割と責任が、GBAC の定める認定基準によって十分に果たされていることが検証され、国際基準において安全・安心であることが実証されました。

◎みやこめッセの感染症対策について

GBAC STAR™ の認証にあたっては、標準的な作業手順からリスク評価の方策、個人防護具の使用法、緊急時の対応策まで、プログラムの主要な20項目への準拠が求められ、これらを実証することで認証を取得することができました。

みやこめッセで行っている、衛生管理や3密回避対策、感染拡大防止対策の周知、主催者様への開催支援等の取り組みの詳細は、当館公式ウェブサイト（<https://www.miyakomesse.jp/>）内、「新型コロナウイルス感染防止対策について」（<https://www.miyakomesse.jp/planner/news/202008211500.html>）をご参照ください。



◎ 京都市勧業館みやこめっせとは



京都市勧業館（通称：みやこめっせ）は、京都市左京区にあるイベント会場です。
 1996年の開館以来、様々なイベントの会場として好評を博し、今年で25周年を迎えました。
 館内にはイベント用の複数の展示場や会議室のほか、京都伝統産業ミュージアムや日図デザイン博物館などがあります。
 展示場の延べ面積としては、京都府最大となる会場です。
 管理運営は株式会社京都産業振興センターが行っています。

■ 館の概要

展示場、会議室・工芸実技室、美術工芸ギャラリー、京都伝統産業ミュージアム、京都伝統産業ミュージアムショップ、カフェレストラン、日図デザイン博物館から構成される。ショップ、カフェレストランから構成される。

・展示場

第3展示場（3F）全面 4,000㎡／半面 2,000㎡
 第2展示場（1F）全面 3,800㎡／半面 1,900㎡／1/4面 950㎡
 第1展示場（B1F）全面 1,480㎡／半面 740㎡
 特別展示場（B1F）全面 370㎡（A面 200㎡／B面 170㎡）
 ウェルカムホール

・会議室・工芸実技室

大会議室 面積 182㎡／規模 120名収容
 第1会議室 面積 52㎡／規模 24名収容
 第2・3会議室 面積 104㎡／規模 48名収容
 特別会議室 面積 36㎡／規模 16名収容
 工芸実技室 面積 104㎡／規模 48名収容

・美術工芸ギャラリー

ギャラリー A 室（西側 2F）54㎡
 ギャラリー B 室（西側 2F）59㎡

・京都伝統産業ミュージアム

京都伝統産業ふれあい館が2019年に閉館。2020年3月にリニューアルし、「京都伝統産業ミュージアム」（通称：MOCAD）としてオープン。ミュージアムショップ、企画展示室、マテリアルライブラリーなどを併設。

・カフェレストラン「GRILL TERRACE ABURU」

2021年7月にオープンした、京都の伝統を繋ぐインキュベーションテラスレストラン。

｜ 本件に関するメディア関係者からのお問合せ先 ｜

株式会社京都産業振興センター 広報担当：立石・仲川
 Tel：075-762-29280 | Mail：press@miyakomesse.jp

株式会社京都産業振興センターのプレスリリース一覧
https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/77909